

指定校番号	28027	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立温品小学校	校長	上田 盛之	生徒指導主事	兼重 聖美
-----	-----------	----	-------	--------	-------

**取組事例名** 『温品なかよしオリエンテーリング』

**取組のねらい** 『キーワード 縦割り活動』

- ・ 縦割り班で活動をすることで、学年や学級の異なる友達や地域の方々、教職員と豊かなかかわりを持ち、望ましい人間関係を育むとともに、感謝の気持ちを持たせる。
- ・ 集団の一員として、自分の役割を果たし、協力して解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

**取組の具体的内容** 『キーワード 豊かなかかわり合い』

(事前)

- ・ 簡単なゲームをしたり、平和集会で折り鶴を一緒に折ったりするなど縦割り班活動を定期的に行う。
- ・ 「温品なかよしオリエンテーリング」前に、児童朝会を使って、縦割り班で集まり、回っていく順番とか、班の決め事など、6年生が中心となって作戦会議をする。



<作戦会議>

※その際、6年生のリーダーにメンバー一人一人の思いや願いを聞き取るよう助言する。

(当日)

- ・ 地域の方々がお世話してくださる「ふれあいゲーム」コーナーと、教職員が担当するゲームのコーナーを数箇所ずつ設け、縦割り班で相談しながら、6年生のリーダーシップのもと、児童だけで回っていく。
- ・ 学年や先生たちからのクイズを解きながら回っていく。

※ゲームコーナーを決める際には、グループで自然に協力し合えるようなゲームに取り組ませる。



<グラウンドゴルフ>



<竹馬>

(事後)

- ・ 「温品なかよしオリエンテーリング」でお世話になった地域の方々に、6年生が感謝の手紙を書く。

- ・ 運営委員会の児童が、縦割り班ごとの得点を計算し、児童朝会で上位3チームの表彰を行う。
- ※チームで協力して取り組むゲームの配点を高くする。また、表彰式では、協力し合って取り組んでいたことを評価する。

### 取組の課題・創意工夫 『キーワード 創意工夫』

- ・ 今年度は、運営委員会の児童がステージ上を飾る看板を進んで作成し、会を盛り上げた。
- ・ 創意工夫があまりできなかったという昨年度の反省を受けて、運営委員会で話し合い、今年度は看板を作ることを決め、休憩時間に児童会室に自主的に集まって、少しずつ作製し、完成させた。



<開会式の様子>

### 取組の成果（効果） 『キーワード 思いやりのある関わり合い』

- ・ 6年生が中心となり、優しく関わり合いながら、みんなで活動を楽しんでいた。
- ・ 上学年の児童は、下学年のお手本となるように、思いやりの気持ちをもって関わり合うことができた。
- ・ 下学年の児童は上学年の児童に協力し、楽しく活動していた。

☆学校生活アンケート（12月）の結果・・・7月より肯定的な評価が増えた。

「学校は楽しいですか」 94%→95%

「友達がいますか」 97%→99%

「友達に助けてもらったことがありますか」 91%→94%

### 今後の展開 『キーワード 継続』

- ・ オリエンテーリング後に、縦割り班で昼休憩に遊ぶ機会を設け(今年度は百人一首・縄跳び)、縦割りのつながりを継続していく。
- ・ 3月に卒業を迎える6年生と関わった経験や、楽しかった思い出を振り返らせ、心のこもったお別れができるようにしていく。

### 他校へのアドバイス 『キーワード 計画的に』

- ・ 年度初めから、6年生がリーダーとしての意識を高めるように常に声かけし、6年生が中心となって活動する取組を計画的に入れていくことで、最高学年としての自覚と責任が育っていくと考えられる。